

国際ロータリー第2520地区岩手第1分區

盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 13 (通算1944回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>E-Mail : jimukyoku@moriokahigashi-rc.com

会長 千葉伸行 / 幹事 北島美栄子
 事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号
 盛岡グランドホテル内
 TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391
 例会場 盛岡グランドホテル
 TEL 019-625-2111
 例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30
 但し、第3月曜日は(18:30～)会場が変更になる場合があります。

副会長挨拶 瀧川誠



こんにちは。

今日は、千葉会長が議会のため、出席出来ないため代わりに挨拶いたします。家庭の事情があり、例会に中々出席出来ずに申し上げありません。だいぶ落ち着いてきましたので先週から週末も盛岡にいますことになりましたので例会も出席出来るよう努めていきます。

したいと思います。

まずは、ゲストの紹介をさせていただきます。ガバナーノミニー仙台ロータリークラブ加藤武彦様です。ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願いします。

新型コロナウイルスの影響も落ち着き、各地におけるイベントが開催されています。

先週21日土曜日も初めてではないのかなと思いますが盛岡駅前で「開運ほこてん」が開催されました。盛岡駅から開運橋の間、130mぐらいで地元のお店20数店が出店し、観光客含めて賑わいもありました。また、昨日22日は、盛岡シティマラソンの開催もあり、会員の方も参加されたのではないかと思います。時折小雨が降りフルマラソン、ファンラン含めて約5500人の方が走られたようです。また、前日のレセプションでは、盛岡市長を初め陸上競技指導者瀬古利彦さん、マラソンランナー谷川真理さんが出席され、瀬古さんからは「マラソンで盛岡を盛り上げよう」と熱くお話しされていました。昨日は、警備スタッフ550人体制で参加者の皆さんの安心安全のため頑張らせて頂きました。いろんなイベントが以前以上に開催され、賑わいが戻ってくることは改めて素晴らしいと感じています。今日の例会も千葉会長のモットーである「明るく・楽しく・元気よく」で皆さんのお力でしっかりと盛り上げていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



2023-2024年度テーマ



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー
 第2520地区ガバナー 森川昭正 (仙台宮城野RC)

昼例会

司会：百々雄一郎
 日時：2023.10.23(月) 12:30
 会場：盛岡グランドホテル
 ロータリーソング それでこそロータリー
 ビジター 国際ロータリー第2520地区
 加藤武彦ガバナーノミニー (仙台RC)

次回プログラム

10月30日(月) 理事会12:00 卓話 浦田秀夫会員



◇幹事報告 北島美栄子

市内会長幹事会報告

石巻東ロータリークラブ様よりクラブ週報
ハイライトよねやま283（オンラインで送信）
RLI研修パートⅠ参加募集ご案内 10/31申込期日

日時：11月11日（土）9:00～16:10

会場：斎苑（仙台市青葉区木町）

第1分区インターシティミーティング（IM）開催予告

日時：12月16日（土） 会場 二戸パークホテル

天沼ガバナー年度年次報告書

盛岡いのちの電話広報

森川ガバナー公式訪問開催のお礼状

MyRotaryへ登録のための正しいアドレスを事務局までお知らせください。

2022年第104回全国高校野球選手権大会メモリアル
フォトブックを頂きました。

◇委員会報告

雑誌委員会 工藤光機 ロータリーの友10月号解説
地区RLI委員長 柴田茂 RLI-1へご出席ください。

◇スマイルボックス 百々雄一郎

加藤武彦ガバナーノミニー

盛岡東RC様の例会に初めて出席しました。

宜しくお願いします。

柴田茂君 おめでとうございます。

誕生日（10月16日）

加藤武彦ガバナーノミニーご来訪ありがとうございます。

湯下道夫君

加藤ガバナーノミニーご来訪を歓迎いたします!!

木村昭仁君

加藤様 本日はありがとうございます。

原田誠章君

加藤様 本日はありがとうございます。

百々雄一郎君

加藤ノミニーご来訪ありがとうございます!!

◇出席報告 原田誠章

会員数24名 出席数11名 欠席数13名 出席率45%
メークアップ 10/21地区RLI委員会 柴田茂



卓話 高橋耕 「カラヴァッジョを追って」

カラヴァッジョは、「関ヶ原の戦い」のあった1600年頃にローマを中心に活躍した画家です。出身はミラノの近くのカラヴァッジョという町です。生前は売れっ子の画家で、絵も高く売れていましたが、ローマでは色々なトラブルを引き起こし、賭テニスのトラブルから人を死亡させ、呼び出しにも応じなかったということで追放令に処せられています。

ナポリからマルタ騎士団が支配するマルタ島に渡り、『洗礼者ヨハネの斬首』を製作した功績により騎士の称号を与えられます。ここでもトラブルを起こして拘束されますが脱獄してシチリアに逃れ、マルタ騎士団からの指名手配となります。

シチリア島のシラクサ、メッシーナを経てナポリに辿り着いて恩赦を求めて高職者へ贈る絵画を準備し、ローマ行きを計画していた時に襲撃を受け負傷します。先に出発した船を追いかけるのですが熱病により38才で死亡しています。死後、多くの画家に影響を及ぼしながらも次第に忘れられたのですが、ここ100年で再評価され、日本では20年程前から色々な展覧会が開催されファンも増えています。私も展覧会はいたい見えています。イタリア本土にある絵もだいたい見ました。

そうすると、最高傑作と言われる『洗礼者ヨハネの斬首』のあるマルタとシチリアの3点（シラクサの『聖ルチアの埋葬』、メッシーナの『ラザロの復活』、『羊飼いの礼拝』）を観たいと思っていました。コロナ禍などで2回断念し、やっと今年8月に行くことが出来ました。

ルーブル美術館には『聖母の死』という絵があります。聖母マリアは、お腹のボテッとした中年の女性の死体です。気高さに変わりはないのですが、人間の姿ってこういうものなんだと改めて思わせられ、感動があります。

この絵は、ローマの教会の依頼で製作されたものの引取りを拒まれたのですが、マントヴァ公の美術顧問をしていたルーベンスが熱心に購入を薦めてマントヴァ公が買取り、その後イギリスのチャールズ一世へ、チャールズ一世が処刑された後にフランスのルイ14世に渡り、ルーブル美術館に収められるという経緯を辿ります。

（参考文献：宮下規久朗「1時間でわかるカラヴァッジョ」、石鍋真澄「カラヴァッジョ・ほんとはどんな画家だったのか」）